

可動  
間仕切  
収納

セフィット  
可動間仕切収納【本体】  
(ダブルシェルフ)



住宅部品表示ガイドラインによる表示

F☆☆☆☆

■構成材料<内装仕上部分/下地部分>

お買い上げいただいた商品は受注生産品です。  
納入年月日は別添のインフォメーションシートに記載されております。

お問い合わせは裏表紙記載のお問い合わせ窓口で承ります。

ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
パーティクルボード	F☆☆☆☆
集成材	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

施工説明書 [ON-S02]

- 作業開始前に、この施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- カスタムパーツをご注文の場合、別紙「カスタムパーツ施工説明書 [ON-S01-2]」もあわせてお読みください。

安全に関するご注意

収納ユニット本体の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。

施工時のご注意

- 開梱後、施工前に部材・部品に損傷等がないかどうかご確認ください。組立作業後の損傷については、責任を負いかねます。
- 付属の部品以外の部品を使用して組み立てないで下さい。
- 作業は必ず手回しのドライバーで行ってください。組立金具等の破損の原因となりますので、電動ドライバーは使用しないで下さい。



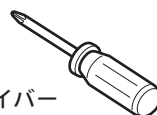
この絵表示は必ず実行していただく「強制内容」を示します



注意 この表示を無視して誤った取り扱いをされた場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、または、物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

使用工具

⊕ ドライバー



カッターナイフ(はさみ)

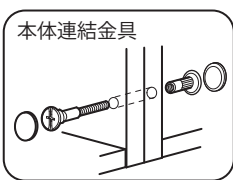


◆ もくじ

確認事項	表紙
1.部材・部品表	1
2.製品寸法図・納まり参考図	1
3.組み立て	2
4.据え付け	3
5.施工後の確認	3

はじめにお読みください

収納ユニット移動の際、特にご注意ください



本体連結金具が外されているかどうかを必ずご確認ください。本体が連結されている場合、本体連結金具を外してください。



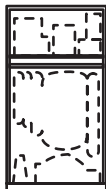
注意

連結したままハンドルを回してユニットを昇降させると、本体が破損する原因となります。  
必ず本体連結金具を外してください。

移動時は  
収納物を全て取り出してください

ジャッキアップキャスターの故障や、床面へのキズやへこみの原因となります。

必ず空の状態で作業を行ってください。



収納ユニット固定の際、特にご注意ください

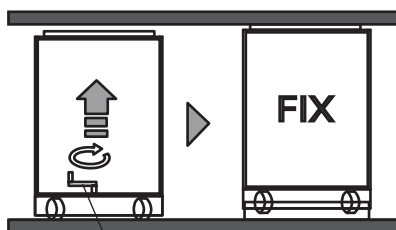
ジャッキアップハンドルを右(時計回り)に回すと、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。



注意

ハンドルを回しすぎると収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがあります。

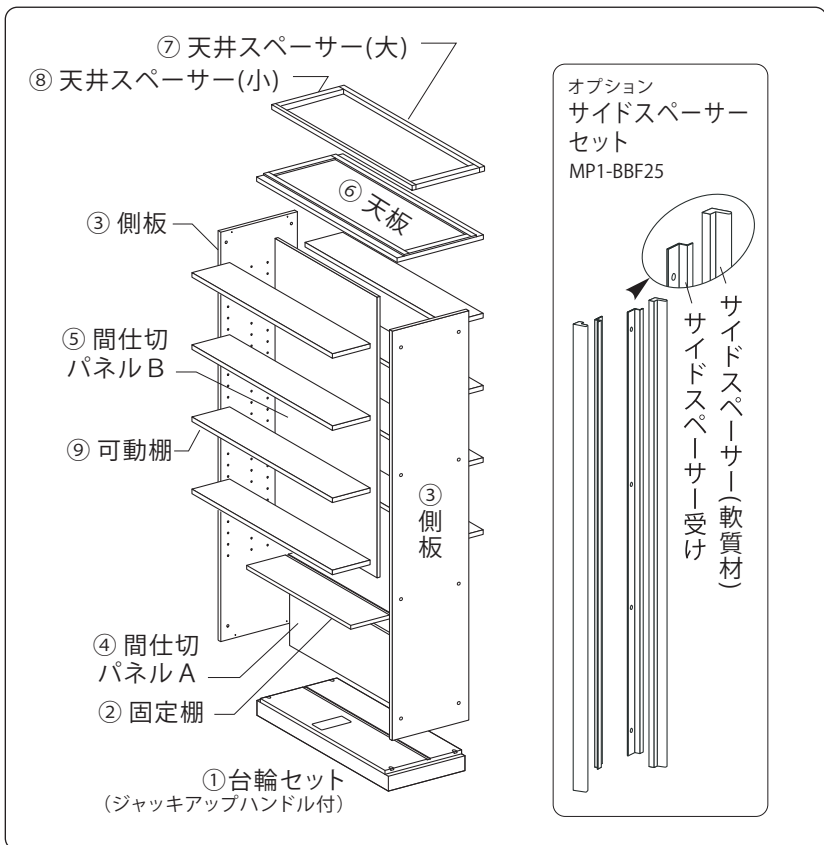
天井スパーサー(軟質材)が天井にスキマなく当たったところでハンドルを止めてください。



ハンドルを右にまわす

# 1 部品・部材表

## ◆ 製品構成図 ダブルシェルフ MP1-07W / MP1-09W



## 部材表

部材		ダブルシェルフ
部材		MP1-07W / MP1-09W
①	台輪セット	1
②	固定棚	1
③	側板	2
④	間仕切パネルA	1
⑤	間仕切パネルB	1
⑥	天板	1
⑦	天井スペーサー(大)	2
⑧	天井スペーサー(小)	2
⑨	可動棚	8

## 部品表

部品		ダブルシェルフ
部品		MP1-07W / MP1-09W
1	シャフトA (ナット用)	48
2	穴隠しキャップ	32

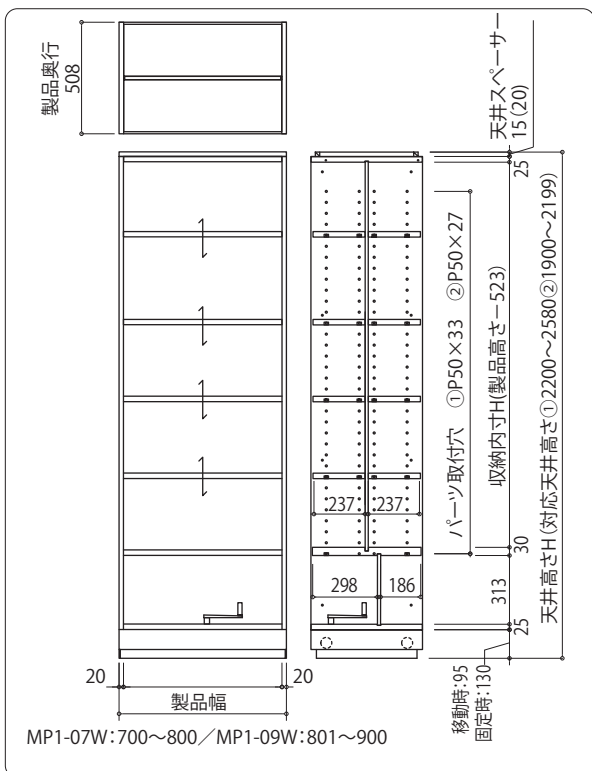
## ◆ オプション

部材・部品		サイドスペーサーセット
部材・部品		MP1-BBF25
1	サイドスペーサー	2
2	サイドスペーサー受け	2(左右各1)
3	サイドスペーサー受け取付金具セット	8組

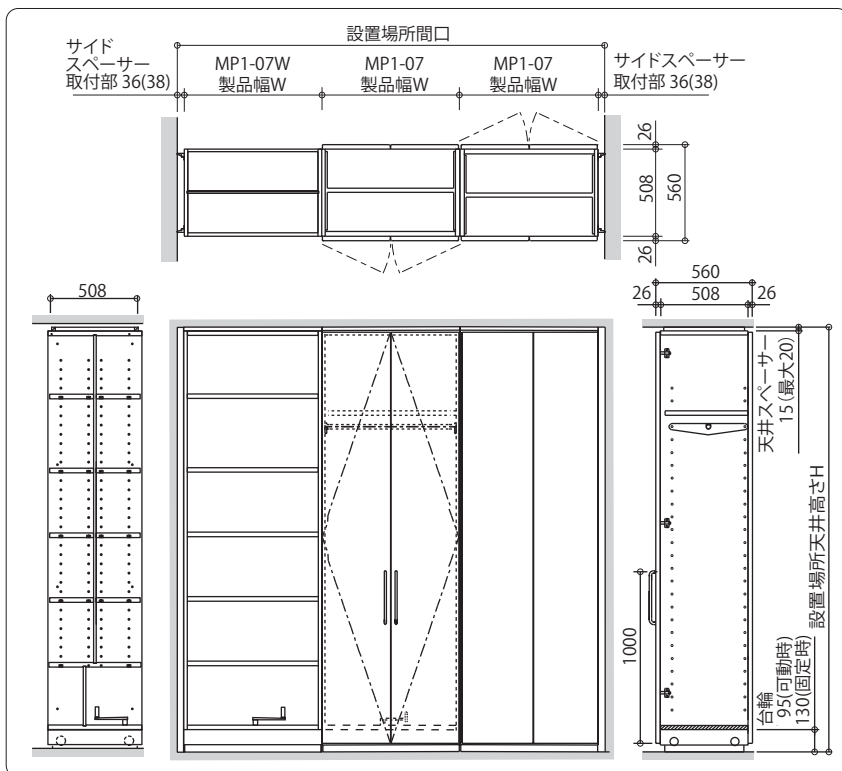
部材・部品		本体連結金具セット
1	本体連結金具	8組
2	本体連結金具キャップ	16

# 2 製品寸法図・納まり参考図

## ◆ 製品寸法図



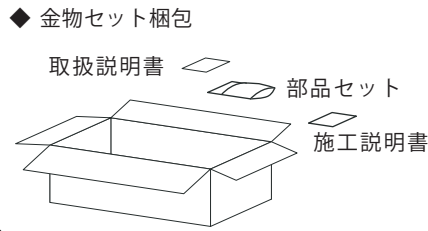
## ◆ 納まり参考図 完全間仕切 MP1-07W×1台 MP1-07×2台の場合



### 3 組み立て

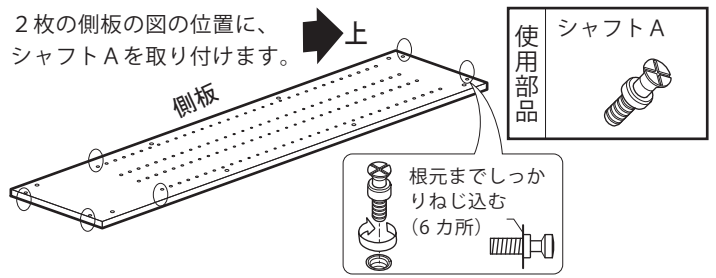
#### はじめに 部品の確認

はじめに  
金物セットの梱包を  
開けてください。  
組み立てに必要な  
部品セット  
施工説明書  
が同梱されています。



#### 3-1 側板に部品を取り付ける

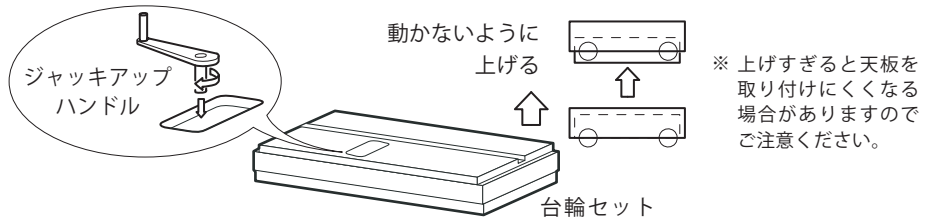
2枚の側板の図の位置に、  
シャフトAを取り付けます。



#### 3-2 側板を台輪に立て、間仕切パネル・固定棚・天板・棚板を取り付ける

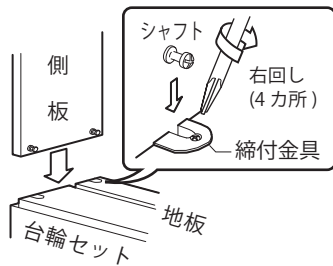
##### 作業開始前の確認と注意

台輪セットが組み立て中に動いてしま  
わないように、ジャッキアップハンド  
ルを右回りに回して本体を上げてくだ  
さい。



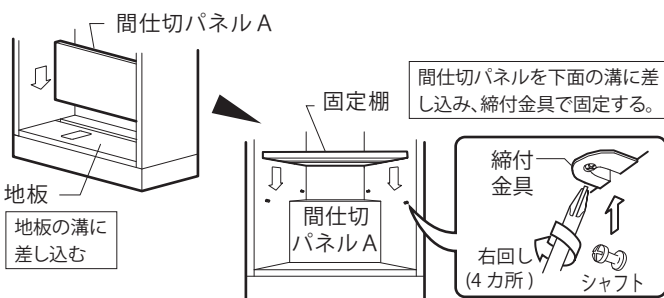
##### ① 側板の取付

側板に取り付けたシャ  
フトAを、地板の締付  
金具に差し込み、⊕ド  
ライバーで右に回して  
締め付け、固定します。

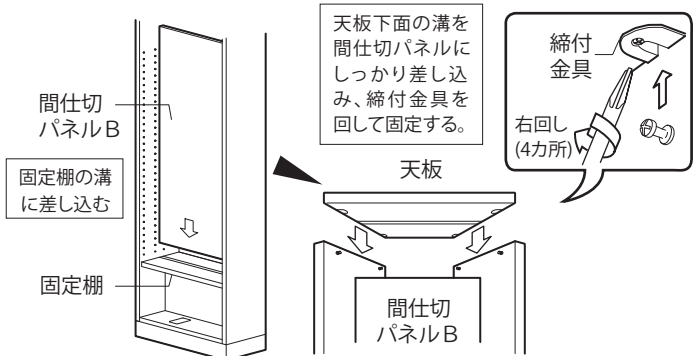


##### ② 間仕切パネルAと固定棚の取付

間仕切パネルAを地板の溝に差し込みます。  
固定棚の下面の溝に間仕切パネルを差し込み、側板に取り付  
けたシャフトにはめ込みます。  
締付金具を右に回して締め付け、固定します。

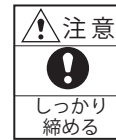
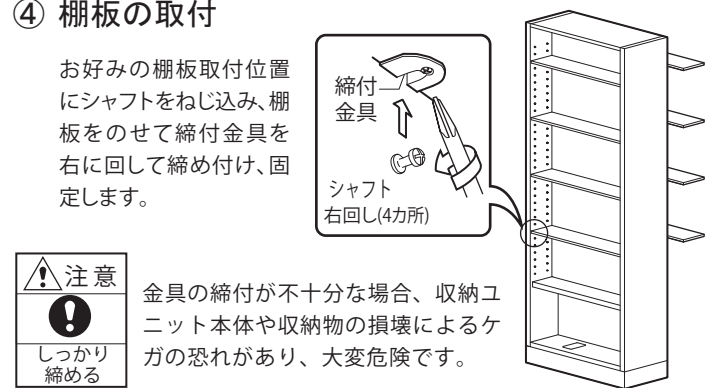


##### ③ 間仕切パネルBと天板の取付



##### ④ 棚板の取付

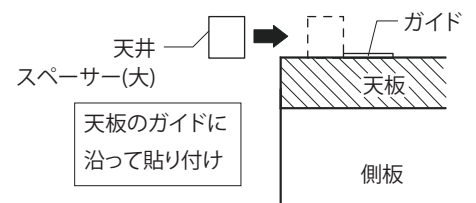
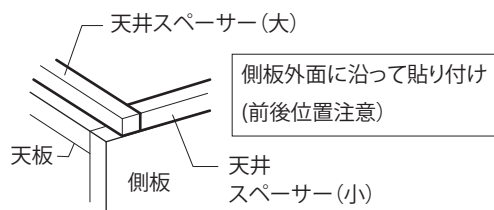
お好みの棚板取付位置  
にシャフトをねじ込み、棚  
板をのせて締付金具を  
右に回して締め付け、固  
定します。



金具の締付が不十分な場合、収納ユ  
ニット本体や収納物の損壊によるケ  
ガの恐れがあり、大変危険です。

#### 3-3 天井スペーサーを取り付ける

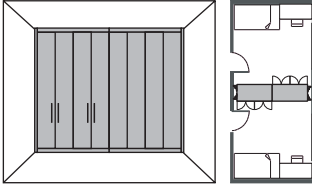
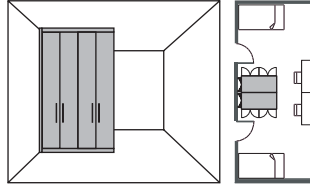
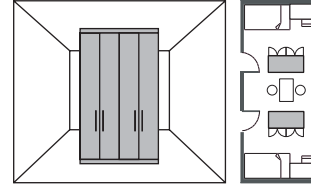
本体組立完了後天井スペーサーを天面  
に貼り付けます。  
※スペーサーは伸縮します。すき間がない  
よう注意して取り付けてください。



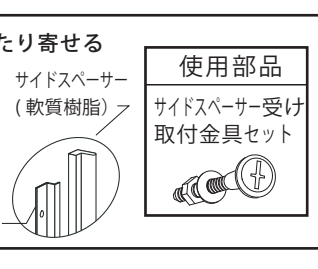
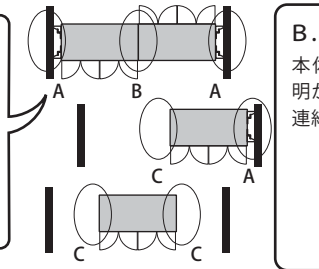
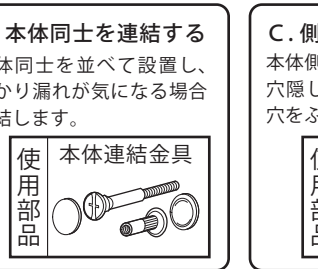
# 4 据え付け

## はじめに 配置方法と配置用部品の確認

### ◆ 配置方法の種類

① 完全間仕切り	② 半間仕切り	③ 可動家具
 <p>ワンルームを完全に間仕切りして2つの独立した個室をつくる。</p>	 <p>ワンルームを部分的に間仕切り。片側を壁に寄せ、片側をオープンにする。</p>	 <p>ワンルームをゆるやかに間仕切り。収納ユニットの両側をオープンにする。</p>

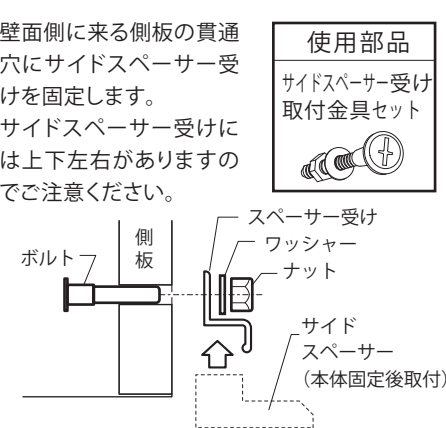
◆ 配置用部品 サイドスペーサーセット・本体連結金具はオプションです。必要な場合は、下記窓口までお問い合わせください。

<p><b>A. 側面を壁にぴったり寄せる</b> 壁と収納ユニット側面との間をスポンジ状の（軟質樹脂）軟質材サイドスペーサーでふさぎます。</p> <p>使用部品 サイドスペーサー受け 取付金具セット</p>  <p>受け（左右あり）</p>	<p><b>B. 本体同士を連結する</b> 本体同士を並べて設置し、明かり漏れが気になる場合連結します。</p> <p>使用部品 本体連結金具</p> 	<p><b>C. 側面オープン使い</b> 本体側面がオープンするとき、穴隠しキャップで本体連結穴をふさぎます。</p> <p>使用部品 穴隠しキャップ φ10穴 片側8ヶ所（両面）</p> 
---	--	--

### Aの場合 4-1 サイドスペーサー受けの取付

壁面側に来る側板の貫通穴にサイドスペーサー受けを固定します。サイドスペーサー受けには上下左右がありますのでご注意ください。

使用部品  
サイドスペーサー受け  
取付金具セット



ボルト 側板  
スペーサー受け  
ワッシャー  
ナット  
サイドスペーサー（本体固定後取付）

### 4-2 配置場所に本体を移動し、固定する

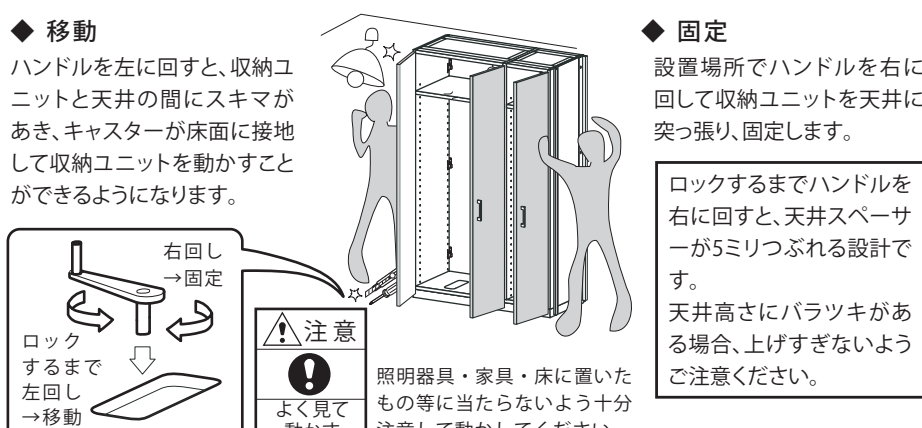
◆ 移動  
ハンドルを左に回すと、収納ユニットと天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができます。

◆ 固定  
設置場所でハンドルを右に回して収納ユニットを天井に突っ張り、固定します。

ロックするまで左回し → 移動  
右回し → 固定

注意  
照明器具・家具・床に置いたもの等に当たらないよう十分注意して動かしてください。

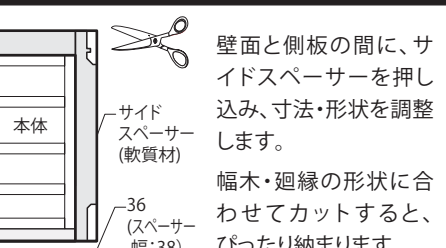
ロックするまでハンドルを右に回すと、天井スペーサーが5ミリつぶれる設計です。天井高さにバラツキがある場合、上げすぎないようにご注意ください。



### Aの場合 4-3 サイドスペーサーの取付

壁面と側板の間に、サイドスペーサーを押し込み、寸法・形状を調整します。幅木・廻縁の形状に合わせてカットすると、ぴったり納まります。

36（スペーサー幅：38）



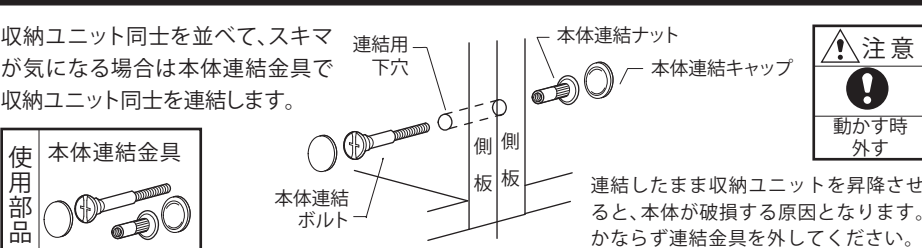
### Bの場合 4-4 本体同士を連結する

収納ユニット同士を並べて、スキマが気になる場合は本体連結金具で収納ユニット同士を連結します。

注意  
動かす時外す

連結用下穴  
本体連結ナット  
本体連結キャップ  
側板  
側板  
本体連結ボルト

連結したまま収納ユニットを昇降させると、本体が破損する原因となります。かならず連結金具を外してください。



# 5 施工後の確認

項目	参考	項目	参考
1 本体各部にガタツキや隙間はありませんか。本体はしっかり固定されていますか。	各部品の締め付けや、固定状態を確認し、ゆるんでいる場合は固定しなおしてください。	3 設置の際使用しなかった設置用部品（穴隠しキャップ等）以外に余った部品はありませんか。	取付忘れていた箇所がないかどうか点検してください。
2 ジャッキアップハンドルは規定の位置に戻されていますか。	規定の位置（地板の収納位置）に戻してください。	4 設置の際使用しなかった設置用部品、施工説明書、取扱説明書は施主様に分かりやすい場所に保管されていますか。	可動間仕切り収納を動かして間取りを変更する際必要となります。かならず施主様にお渡しください。